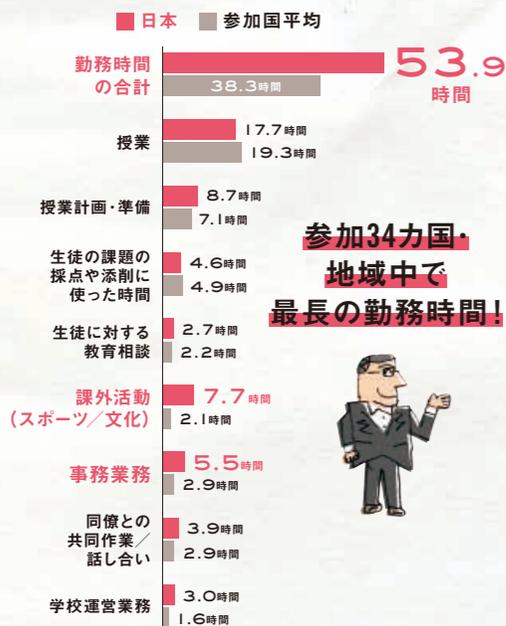


### 1週間あたりの勤務時間

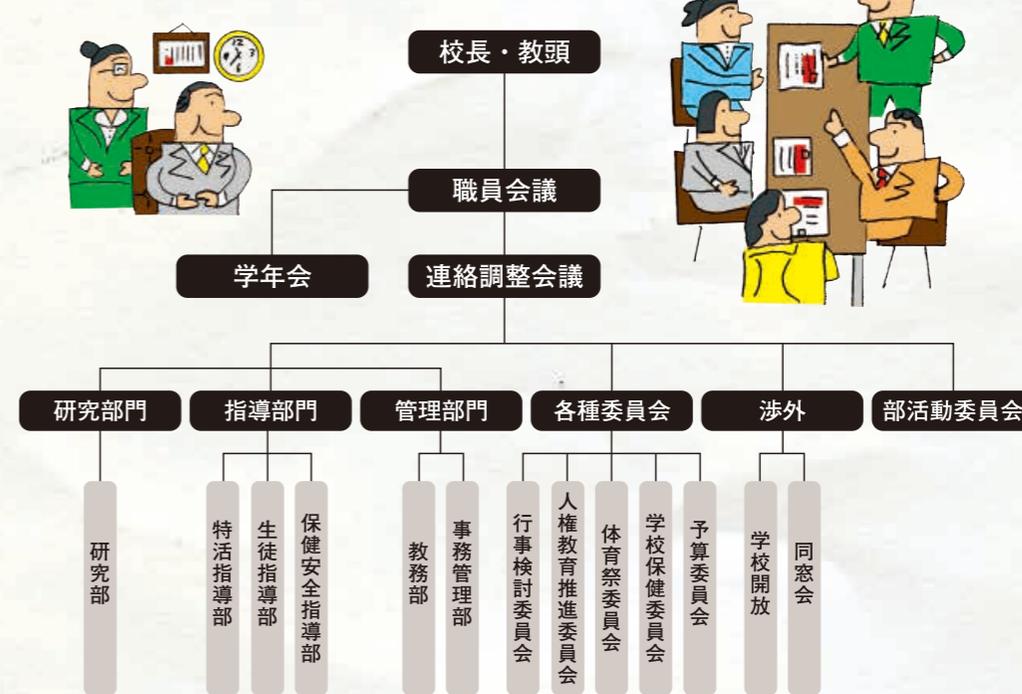


出典：国際教員指導環境調査(TALIS2013)  
 ※34カ国・地域が参加するOECD調査 ※日本は中学校約200校の校長、教員(非正規含む)が対象(国公立90%、私立10%)

**Q 貢献度に応じて評価は変わるの？**  
 校務分掌を多くこなせば給与が増える、といったことはありません。教員の給与は、条例で定められており、毎年行われる人事評価に基づいて決定されています。学年主任や教務主任などの教員には、「主任手当」と呼ばれる手当が支給されますが、一日200円程度です。これら主任は中間管理職ではありませんが、それぞれ任された校務組織において、連絡・調整や、教員への指導助言などを行い、校務を遂行する際の中心的存在です。学校組織は上意下達だけではうまく回りません。専門職である教員が協働性を活かし、組織として課題にとりくんでいく

**Q 「校務分掌」の課題点とは？**  
 姿勢が重要です。大きくは二点考えられます。一点目は校務の肥大化に繋がってしまふ可能性があることです。校務分掌は、非常勤講師には割り当てられません。そのため、非常勤講師が増えると、校務が専任教員に重くのしかかってしまいます。学校の業務は多岐にわたるため、一人が2つ、3つと校務を分担することが日常的な光景となる恐れがあるのです。二点目は、校務分掌が細分化され過ぎていく傾向にあることです。校務分掌の組織を整理、統合しなければ、校務間の連携は薄くなり、情報交換や連携が

### 校務分掌組織図の例(中学校)



**Q 教職員が受け持つ「校務分掌」とは？**  
 学生には馴染みの薄い「校務分掌」という言葉ですが、学校の組織運営を考える上でとても重要なものです。「校務」とは、学校の運営に係る一切の業務のことを指します。「教務」、「生徒指導」、「管理・運営」、「渉外」などが中核を占め、それぞれに部や係が設けられます。これら一つひとつの校務を「分掌」、つまり、各教職員が手分けして受け持つというわけです。

校務分掌は、学校ごとに様々です。小中高といった校種によっても異なり、小学校の場合、「生徒指導」の担当をおく学校は少ないです。また、校務の内容を大きな括りで運営している学校がある一方で、細分化して運営する学校も増えています。これは、近年におけるいじめの問題や地域との連携の必要性といった、学校に課せられた複雑化・多様化する教育課題に対応するためだと考えられます。

**Q 「校務分掌」は誰が決めるの？**  
 学校の組織編制の権限は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」によって教育委員会にあるとされています。さらに、「学校管理規則」と呼ばれる教育委員会規則では、効果的で効率的な組織編制のため、「校長は、校務を分掌する組織を定めるものとする」としています。わかりやすい例を挙げれば、毎年、校長が学級担任を命ずることも校務分掌です。その際、校長の独断によって決定されることは少なく、多くの場合、個々の教職員の希望調査を行った上で、最終決定しています。

**Q 今後どのようなとりくみが必要？**  
 OECD(経済協力開発機構)は、2013年に行った国際教員指導環境調査(TALIS2013)において、各国の教員の現状と課題を報告しました。その中で、日本の教員の勤務時間は一週間当たり53・9時間と参加国中最も長かったのに対し、授業に費やした時間は平均並みでした(グラフ)。ヨーロッパの多くの国では、教科指導以外の業務は教員の本業ではないという考え方が浸透しています。つまり、他の業務については、補助職員などを活用して、教員の負担軽減を図るべきとの考え方が、実は、日本にもこの考え方が少しずつ広まってきています。

今さらきけない! 教育問題 ④

## 「校務分掌」とは?

「頻繁に耳にするけど実はよくわからない」  
 そんな教育問題をわかりやすく解説。  
 今回は、「校務分掌」を取り上げます。

近年、「チーム学校」という外部スタッフを活用した学校運営を中教審が提言しました。これは、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、学習支援員などの外部スタッフを活用して、学校教育の目的実現を図っていくというものです。ただし、こうしたとりくみには、外部スタッフをうまく采配できる、コーディネーターが学校に必要です。学級担任と外部スタッフの連携が求められるため、その意思疎通を図るために一層会議が増えてしまったのは本末転倒です。「外部スタッフの導入」教員の負担軽減」との短絡的な考えでは問題は解決できません。外部スタッフを真に有効活用できる環境を整えることが必要です。

**樋口修資(ひぐち・のぶと)**  
 明星大学教育学部教授。1976年に文部省(現文部科学省)入省、大臣官房審議官、スポーツ・青少年局長などを歴任。2011年から東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会事務局局長を務めた。



イラスト：ワタナベケンイチ





# 教職志望のみなさん、“教職員”になったら きりんの共済に入りましょう!

教職員共済とは

- ▶ 厚生労働省の認可を受けた生活協同組合(生協)です。
- ▶ 共済事業を行う全国組織の生協です。
- ▶ 教職員を組合員とする、教職員と家族の生活を守るための生協です。
- ▶ 教職員・教育関係者だけが加入できる生協です。



※「あむりん」は教職員共済のイメージキャラクターです。

## 確認! 教職員共済のトータルライフサポート

- 月々900円で備え充実  
**総合共済** 教職員賠償もついています!
- 公的年金にプラスして安心のセカンドライフを  
**年金共済** (年金共済・適格年金共済)
- 病気・ケガ・死亡などに備えて  
**トリプルガード** (団体生命共済・医療共済)  
**交通災害共済**  
**新・終身共済** (終身生命共済)
- 予期せぬ災害や事故に備えて  
**火災共済&自然災害共済** (住宅災害等給付金付火災共済)  
**自動車共済**  
**車両共済** (車両保険)

詳細はWEBから!  
メルマガ登録も歓迎します

教職員共済    
<http://kyousyokuin.or.jp/>

モバイルはこちらから!





入不二路子さん (大分大学教育福祉科学部人間福祉科学課程生活環境福祉コース1年) ①映画鑑賞。最近はコメディ映画がマイブームです ②おもしろい人がたくさんいるところ ③高校の時の先生に言われた「感謝の言葉を忘れずに」 ④山崎賢人



山本大地さん (島根大学教育学部初等教育開発専攻1年) ①歌を歌うこと ②1000時間にわたる体験活動や教育実習を通じて大きく成長できる「1000時間体験学修」 ③中学校の部活の顧問のモットー「向上心」 ④綾瀬はるか。明るくて天然なキャラがタイプです



渡部ゆり奈さん (大分大学教育福祉科学部人間福祉科学課程生活環境福祉コース2年) ①車の中でカラオケ ②先輩が優しいところ ③母の「得意の時には慎み、失意の時には精進を」という言葉。謙虚な心や、努力の大切さを教えてもらった ④山崎賢人



秋山由衣さん (島根大学教育学部人間生活環境教育専攻2年) ①ボランティアの仲間とのかかわり、食品サンプル集め ②環境に優しいところ、「1000時間体験学修」の強み ③広島東洋カープのポスターに書いてあった言葉「やるなら今しかない」 ④玉木宏



小野晶央さん (立教大学現代心理学部映像身体学科4年) ①アースカラー ②新座キャンパス。池袋キャンパスとは違って現代的な感じでキレイ ③サークルの後輩が言った「生きとし生けるものはいずれ死ぬ」 ④久しぶりに学食を食べた時



大澤由佳さん (上智大学経済学部経済学科1年) ①ソジャー (上智大学限定販売の「ソフィアジャー」) ②校舎の雰囲気 ③「なせば成る」。大学受験の時お世話になった塾の先生からいただいた言葉です ④友達と休憩時間をおしゃべりしながら過ごす時



岡林友暉さん (上智大学総合人間科学部教育学科1年) ①シンプルです ②学生が少数だから、キャンパス内ですぐ友達に会うことができること ③「Time waits for no one.」高校の英語の先生に言われた言葉 ④友達と笑っている時



梅川万由さん (立教大学社会学部メディア社会学科3年) ①タートルベストと白シャツ。秋の流行ののりました ②校舎。他と違う、趣のあるところが好き ③バレーの先生に言われた「越えられない試練はない」 ④期末レポートを提出し終えた時

西日本 編

CAMPUS SNAP

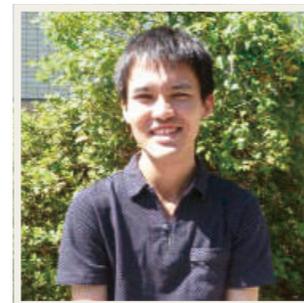
自分の大学の好きなおところは？

今回のキャンパススナップ西日本編は、島根大学・大分大学の学生さんに登場していただきました！

- ①最近打ち込んでいることは？
②自分の大学の好きなおところはどこですか？
③今でも覚えている先生(家族、友人、恋人等々)の言葉は？
④理想のタイプの芸能人は？



大西早紀さん (島根大学教育学部初等教育開発専攻3年) ①ダンス、写真 ②キャンパスが狭いぶん、いっぱい友達と出会うところ ③教育実習中、友達から言われて心に響いた「本気で子どもと向き合えば、子どもも本気で応えてくれる」 ④堤真一



伊藤英陽さん (大分大学教育福祉科学部人間福祉科学課程生活環境福祉コース3年) ①アーティストのライブに行きってストレスを発散すること ②ベンチのある中庭 ③大学の教授に言われた「分からないことを分からないままにするな」 ④伊藤英明



玉井瑞穂さん (立教大学法学部法学科3年) ①秋っぽい色 ②キャンパスの規模が大きすぎず過ごしやすい ③高校の大掃除で先生の手伝いをして「玉井さんは本当に優しい子ね」と言われた ④学園祭期間。キャンパス内がエネルギーに溢れている感じが好き

CAMPUS SNAP

関東 編

今でも覚えている先生の言葉は？

今回のキャンパススナップ関東編は、上智大学・立教大学の学生さんに登場していただきました！

- ①今日のファッションのポイントを教えてください。
②自分の大学の好きなおところはどこですか？
③今でも覚えている先生(家族、友人、恋人等々)の言葉は？
④学生生活で一番幸せな時は？



廣瀬敦さん (上智大学経済学部経済学科1年) ①シャツの前後にいるお猿さん ②雰囲気、校舎、色々な国籍の友達ができること ③中学の先生に言われた「練習で120%の力を出さなければ、本番で100%の力を出せない」 ④友達と一緒に過ごしている時



小野湯太さん (大分大学教育福祉科学部人間福祉科学課程生活環境福祉コース1年) ①陸上競技(短距離走) ②自然が多く、学生が楽しく過ごせること ③高校の時、陸上部の監督に言われた「GIVE&TAKEはGIVEからはじまる」 ④新垣結衣



入不二裕子さん (大分大学教育福祉科学部学校教育課程教科教育コース3年) ①スマホのバブルゲーム(LINEバブル2)にハマっています ②自然が豊かなところ ③高校の時、学校行事のテーマだった言葉「意志あらば道開く」 ④小出恵介



外池将大さん (島根大学総合理工学部物質科学科4年) ①ラクロス ②食堂のおばちゃんがフレンドリーなところ ③中学の先生に言われた「ニコニコしとけばなんとかなる」。今でもこの先生とは交流があり、飲み连接到いてもらうことも ④上戸彩



下崎美幸さん (島根大学法文学部言語文化学科4年) ①卒業論文 ②教授とのかかわりが密接で、親身に話を聞いてくださるところ ③中学2年の担任に言われた「全員じゃなくてもいい。1人でも多くの人に気持ちを伝えてみなさい」 ④広島東洋カープの堂林翔大選手



大森耀介さん (上智大学総合人間科学部教育学科1年) ①友達の家泊まっていたので、コートの下がほぼジャマです ②授業の空きコマの時間、キャンパスに人が少ない ③「一期一会」。中学の担任の先生に言われました ④期末レポートを全部書き終えた時



森井雪菜さん (立教大学文学部史学科3年) ①赤のチェック！ ②綺麗なキャンパス。正門が立派すぎて、今でもくぐる時緊張する ③高校の先生に言われた「教師に向いてるよ。頑張れ」 ④野球サークルのマネージャーになって3年目、初めて強豪に勝った時



小林元機さん (立教大学文学部史学科2年) ①白シャツ ②ほどよい緑があるところ。キャンパス外に出ずにリラックスできる ③サークル会議中に先輩が言った「代案なき反対禁止」 ④友達に「人生で出会った中で、一番面白いと思ったのは君だ。」と言われた時



益子美琴さん (上智大学文学部新聞学科1年) ①黒！ ②様々なバックグラウンドを持った人が、世界各国から来ているところ ③中学時代の道徳の先生に言われた「経験に無駄なものはない」 ④尊敬している教授のブログに自分のことが載った時

※学年は取材時のもの



自身の経験から、最近の教育問題まで、学生たちの質問に真剣な表情で答える加藤さん。

加藤 地域差もありますが、勤務校に同世代が一人もない例も少なくありません。ですから、自分から進んで他校の教員とも交流しようという姿勢が大事だと思います。そういう時にはぜひ組合を役立ててください。組合の教育研究集会をはじめ、学校の枠を超えた

実践の報告・意見交換会、勉強会などの機会を活用するののひとつの方法です。一方で、ベテラン教員とのコミュニケーションも大切です。年齢が離れた教員とコミュニケーションがとれない若手教員は、保護者との関係もうまく築けない場合が多いように感じます。外部から見れば、学校の評価は、個々の教職員の力量からではなく、学校全体の教育実践の総体からされます。若手、中堅、ベテラン、管理職、それぞれの立場の持ち味を生かしながら、子どもたちや保護者とかかわることが大事です。そういう意味では、若い教員にはもっと無鉄砲さがあってよいと思

います。私は、「若手は学校全体を運営する視点で、管理職は一人の学級担任の視点で考えよう」と呼びかけています。大胆に感じるかもしれませんが、各々があえて自らとは異なる視点で思考することで、学校全体として多様性が担保された教育環境をつくることができると考えています。曾根 「教員の多忙化」が指摘されて久しいですが、具体的にどんな問題が起きているのですか。加藤 日本の教員は、諸外国と比べて多様な業務をこなしています(グラフ)。現状の体制では、教育活動の基礎となる教材研究などの時間を、十分に確保するのが難しくなっています。その結果、夜遅

くまで学校に残ったり仕事をもち帰ったりする教員も少なくないのです。中学校の場合は、加えて部活動顧問なども入ってきます。自らが経験したことのないスポーツの顧問になるケースなどは、その精神的な負担も大きいようです。教職員の人数を増やすと同時に、様々な経験や得意分野を持つ幅広い層に学校教育に携わってもらうことも必要だと考えています。岡田 最後に、教員をめざす学生にこれだけは持っていてもらいたいというものをお聞かせください。加藤 まずは、教職は「他人の人生に大きな影響を与える」仕事であることを受け止めた上での「謙虚さ」です。これさえ失わなければ、どんな苦労があろうと教員を続けていけるでしょう。もう一つは、教える技術を磨こうとする気持ちです。「知っていること」と「伝えること」はまったく別物で、豊富な知識があっても、子どもたちに伝わらなければ意味がありません。「楽しい」「分かりやすい」と評される授業の裏には、常に向上心を持って、どんなに忙しくても授業研究を惜しまない教員の姿があります。こうした姿勢が、子どもたちや保護者からの信頼や尊敬につながっていくのだと思います。

れましたよ」というポジティブな発信を織り交せることで、保護者も徐々に心を開いてくれます。そして、保護者から相談やお願いがあつた時、難題であっても、「無理です」と答える前に、まずは「一緒に考えましょう」「方法がないか調べてみます」などの一言を出す。そうした積み重ねが、「この先生は、自分たちのことを考えてくれている」という安心感や信頼感を育てるのだと思います。岡田 いま学校では、若い先生が少なく、同世代との交流が持てないと聞きます。



曾根佳菜子さん (そね・かなこ) 早稲田大学文学部在学中。中学生の時、自分の悩みを親身になって聞いてくれた先生との出会いがきっかけで教員を志す。

岡田 龍さん (おかだ・りゅう) 日本獣医生命科学大学応用生命科学部在学中。教育関係者である両親、親戚などの影響を受け、自然と教員を志す。教育実習を来年に控える。

んなことを意識すればよいですか。加藤 教員と保護者は、子どもたちがすこやかに育つ環境を共につくる協力者であると思います。若い頃、問題行動の多い生徒を何度も指導し、保護者にも注意を促したことがあります。そうした「いつも子どもの悪いところばかり指摘するが、良いところはないのか。うちの子のことは見ていないのでは」と言われ、ハッとしました。連絡する度に、指導や注意ばかりでは、誰だって良い気分はしませんよね。指導は必要ですが、「今日こんな良い面が見ら

岡田 来年、教育実習があります。子どもたちと接するにあたり、心がけておくべきことはありますか。加藤 子どもとのかかわり方は、各々違いますから、一概には言えないでしょうが、私が意識してきたのは謙虚であり続けることです。具体的には、どんな立場であれ、一人の人間として自らの非を認め、素直に謝罪できるかどうか。例えば、思い込みで子どもを疑ってしまった。その時に「疑ってごめん」と、頭を下げるのができるか。子どもたちは、そういうところをよく見えています。一方で、「子どもたちの将来のために、今、このことに気付かせておかなければ」という場面に立たされることもあります。そんな時は、心を鬼にして叱らなければ



加藤良輔さん (かとう・りょうすけ) 学校事務職員を経て、1975年から中学校教員として勤める。2005年から神奈川県教職員組合執行副委員長、07年同委員長を歴任。12年4月より日本教職員組合中央執行委員長。

教職という仕事への謙虚さと向上心が子どもや保護者からの信頼につながります

# 教員志望学生 お悩み相談室

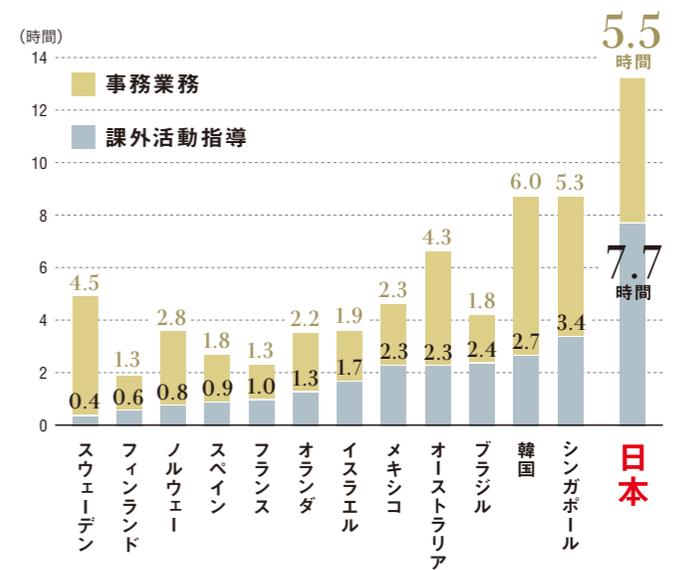
その2

教員志望の学生は、教育実習などで学校を訪れる機会はあるものの、現場の細かな実態までは把握しきれず、不安を残したまま採用試験に臨むということもあるようです。子どもや保護者、同僚との良好な関係の築き方から、教育現場の背景にある教育問題まで、日ごろの疑問や不安に答えてもらおうと、当誌学生特派員が日本教職員組合の委員長である加藤良輔さんに聞いてきました。

ならない。その両面があるから子どもたちの信頼が得られるのです。曾根 教員をめざす上で、最も心配なことのひとつが保護者対応です。保護者との信頼関係を築くにはど

## 教員の1週間当たりの課外活動に関わる時間と事務作業時間の国際比較

出典：国際教員指導環境調査(TALIS2013)



# 「辛い」「嬉しい」を 繰り返しながら 自分も成長できる

豊中市立第五中学校教諭

濱田真羽さん

活躍する  
先輩たち

VOL.4



濱田真羽さん

1988年大阪府生まれ。2007年3月、大阪府の私立高校を卒業し、同年4月に大阪大谷大学に入学。11年4月から大阪府内の中学校で講師、12年から高校で非常勤を経験し、13年4月から豊中市立第五中学校教員。

**中** 学一年の時、勉強が嫌になり、不登校になった時期がありました。そんな時、当時の担任をはじめ、先生方が一丸となって家庭訪問をしてくれたり、個別に勉強をみてくれたりしました。誰一人として、「学校に来い」とは言わず、「世間話をしよう

か」と、私から動き出すのを待ってくれる。直接的な言葉はなくとも、心配してくれている気持ちが伝わり、安心感を持てました。「子どもに対して上から目線ではなく、正面から向き合える先生になりたい」。教員をめざしたきっかけは、こういった経験からです。

大学に進学し、中学校での教育実習を経験しましたが、始めの2週間は指導教員についていくのが精一杯でした。生徒との距離もなかなか縮まらず、「本当に自分に務まるのか」と自信を持てずにいました。そんな中、指導教員の「控えめに子どもを見ていてではなく、もっと入っていかないと」との一言で、教員をめざした原点を再確認できました。自分にできることは、子ども一人ひとりと向き合うことだ、と。それからは、生徒たちと放課後に話をしたり、朝早く学校に行き様子を见守ったり。次第に距離は縮まり、担任には相談できないことを私に打ち明けられるような生徒も出てきました。自身の経験を思い出し、でも、「先生が見てくれている」と感じてもらうことが、何よりも大切なのだと思います。

教育実習後の最大の関門は、教員採用試験です。何かアドバイスするとしたら、面接でしっかり自分をアピールできるように準備するということです。他の人が揃って答えそうなことは、面接官も聞き飽きています。私が受験した時は、いじめによる子どもの自殺がメディアで大きく報じられており、「いじめを発見したらどうしますか？」という質問をされました。他の人が、「まずは事実確認をする」と答える中、私は、「まずは子どもの命を守ることを最優先に考える」と答えました。筆記試験にはあまり手ごたえがありませんでしたが、面接で自分なりの意見を言えたことが評価されたのだと思っています。

教員の仕事は、辛いことが9割、嬉しいことが1割だと思えます。どんなに真剣に指導しても、理解されず腹が立つこともあります。でも、何を言っても聞いてくれなかった生徒が、関係を築くうちに、「頑張ってくれた時には、とても報われた気持ちになります。まだ生徒を卒業させた経験はないですが、先輩教員は、「どんなに辛いことがあっても、卒業の瞬間に全てが良い思い出になる」と言います。

教員の仕事は、辛いこと、嬉しいことを繰り返しながら、自分自身も成長できるやりがいのあるものです。教職に就くことを悩んでいる学生みなさんには、ぜひ一步を踏み出し、てもらえたらと思います。

# 子どもの権利条約日本批准20周年



「子どもの権利」  
なんて言っちゃうと、  
子どもがわがままに  
なるのでは？

**子**どもの権利条約は、世界中の子どもの権利を保護するために、1989年の国連総会で採択され、日本でも1994年に批准されました。おとなや社会は、子どもの権利を当たりまえのものとして保障しなければなりません。子どもの権利は人権であり、生まれながらにしてすべての子どもにあるのです。それは責任や義務を果たしてから与えられるものではありません。

できることから始めよう！

遊び場

いっしょにあそぼうよ！

失敗しても怒らないで！

ちょっとはなしを聞いてよ！

安全な通学路

チャイルドライン

子ども権利週間

子どもの権利条例

卒業式・入学式の企画運営

児童会・生徒会の活用

子どもホームページ

子ども議会



children's week  
11.21~11.27

child news.jp

みんな〜

パチパチ！

パチパチ！

子どもサポーター

supporter

コミュニティひろば

子育てネットワーク

子どもサロン

**STOP!** 子どもの虐待をなくそう！  
オレンジリボンキャンペーン  
あなたも参加してください。 URL <http://www.orangeribbon.jp/>

JTU 日本教職員組合

<http://www.jtu-net.or.jp/>

## PICK UP INFORMATION

### 表紙の人・伊勢谷友介氏出演 劇場版 MOZU が 11/7 公開

ハードボイルド作家、逢剛原作の警察小説「百舌シリーズ」。2014年の連続ドラマ化で大反響を受けた同作の劇場版が、11月7日に公開されます。

ドラマでは、警視庁公安部の捜査官・倉木（西島秀俊）が妻子の死の謎を追う中で、大

杉（香川照之）、明星（真木よう子）とともに警察内部に潜む闇を白日のもとに晒すという展開で、一部の謎が明かされぬまま終了しました。

その一つが、最大の黒幕とされる「ダルマ」（ビートたけし）の存在です。「重大事件の裏にはダルマあり」と噂される重鎮が、冷静沈着な

犯罪プランナー高柳（伊勢谷友介）、猟奇的な殺し屋・権藤（松坂桃李）を携えて新たな犯罪計画を目論みます。最後の敵・ダルマとの死闘の行方、倉木が抱え続ける妻子の死の謎の真相が、豪華なキャストのもと、迫力ある演出で描かれます。



© 2015 劇場版「MOZU」製作委員会 © 逢剛 / 集英社

# 社会応援 ネットワーク



## エデュポン EDUPONT 大学生特派員 大募集!

同じ夢をめざす仲間と今しかできない経験を!

「EDUPONT<sup>エデュポン</sup>」は、学校や地域という枠を超え、様々な形でこれからの「教育」を担っていく学生のみなさんを応援するコミュニティマガジンです。媒体の制作を通じて、全国の教育学部生の交流の場、学生が自由に「志」を抱き、行動に移すための有益な情報や活躍の場を提供することをめざしています。「EDUPONT<sup>エデュポン</sup>」の制作に加わってくれる全国の大学生のみなさんの応募を心よりお待ちしております!

**【応募条件】**  
教員志望もしくは教育に興味のある大学生

**【活動内容】**  
①年2回程度の編集会議への出席\*1  
②編集会議で担当が決まった企画の企画立案、取材、原稿作成\*2  
\*1:編集会議は東京で開催。往復交通費等は「社会応援ネットワーク」が負担いたします。\*2:取材経費(交通費、宿泊費等)は「社会応援ネットワーク」が負担いたします。実働内容に合わせ、薄謝ですが謝礼もご用意しています。

**【応募方法】**  
E-mailにて、件名に「エデュポン大学生特派員参加希望」、本文に①氏名 ②大学名 ③学部学科 ④学年 ⑤電話番号を記載の上、  
edupont@shakai-ouen.comまでご応募ください。  
(なお、応募状況によってご希望に沿えない場合もあります。ご了承ください。)

製作協力

日本教職員組合

取材協力

上越教育大学

上智大学

立教大学

島根大学

大分大学

大阪府教職員組合

協賛

教職員共済生活協同組合

Facebook  
はじめました。

エデュポン

検索

# EDU PONT

2015  
autumn  
vol. 4

発行人  
高比良美穂  
(社会応援ネットワーク)

編集長  
若染雄太  
(社会応援ネットワーク)

撮影  
岡村隆広・櫻井秀夫・  
武田憲久・長谷川博一

取材・編集  
ニューメディア研究所  
シンキング

デザイン  
細山田デザイン事務所

学生特派員  
相川佳穂  
(東京学芸大学教育学部)  
荒木真歩  
(早稲田大学文化構想学部)

井上みちる  
(上智大学外国語学部)

岡田龍  
(日本獣医生命科学大学  
応用生命科学部)

小島奈津子  
(早稲田大学教育学部)  
曾根佳菜子  
(早稲田大学文学部)  
野口真琴  
(大分大学教育福祉科学部)  
則武勇太郎  
(早稲田大学政治経済学部)  
松尾和樹  
(大分大学教育福祉科学部)